

【第4号様式】

令和7年度 第9回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会（定例会） 議事録	
日 時	令和8年2月27日（金）15:30 ～ 17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 地下会議室
出席者 （敬称略）	【計画相談事業所】 ウィング、地域生活支援C、タキオンネクスト、ハーモニー、恵和、わおん、てらん、ゆめ、いわまワークス、さーくる、コンシェル、生活SC、夢21、光風会、エススタイル、たちちほどがや
	【その他】 十愛病院、西部就労、反町福祉機器、光の丘、区、基幹
	◆進行管理＝恵和 ◆記録＝生活SC ◆受付＝基幹・区
欠席者 （敬称略）	【計画相談事業所】 かけはし、みらいライフ、西部療育、オレンジ、いっしょ。、はーとらんど、toiro、オリーブ、はる
	【その他】 若葉台特別支援学校、更生相談、延命法律、発達障害支援C、いろいろ
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ <u>非公開</u>
議 題	<u>1、事務局より：相原部会長（15:30－15:35）</u> 開会のあいさつ
	<u>2、「かるがも協働体」実践報告について（15:35－16:05）</u> ・今年度実践報告 ※資料参照 ・シンポジウム 「かるがも協働体」メンバー、基幹相談支援センター・遠藤所長（コーディネーター） ① 協働体をつくったきっかけについて 基幹より 相談支援事業所の少ない体制下で、困難事例など対応をしている状況だった。人材育成、質の高い支援の展開、行政との連携、地域課題を検討する場として有効だと期待した。各事業所の強みを生かしながら、事例検討を通して多様な支援例にふれることで学びを深めることができる。日々現場でリアルな課題を感じているので、地域に近い形で現場から発信してもらえる効果も期待した。 バランスを考え、各障害に特化した事業所+地活に声を掛けて立ち上げまでバックアップした。加算のみでなく、地域体制の強化につながるものと考えている。 ② 質問 アンケートより ・開始前後で日頃の業務の変化はあった？ →制度など情報共有しやすくなった。 ・業務の大変さは？ →時間を決めてオンライン会議を実施しているので、予想より負担感がなかつ

た。

・支援の質向上について

→毎週会議実施することで専門分野が異なる事業所ならではの異なる情報が入り、共有できることがよい。情報を得ることで質の良さに繋がっていると感じている。

・どのようなケースで共同体制をとることでメリットがあったか？

→まずケース共有を連続でおえている。長い目でみると利用者へのメリットにつながるのでは。メリットにしていけないといけないと思っている。

・うまくいった事例などあるか？

→定期的な会議は負担感がなく出来ていることは、共有・検討・経過報告できる場があること。家族支援のワードが出てくるが、一人で抱えず、助言をもらうことで世帯分離できたのは良い事例だったのでは。

・負担感はあるか？

→そこまで負担感を感じていない。発生したトラブルはないが、事例検討の集合同場所確保の問題はあったが、その他はない。

・管理者・経営陣にどうアピールした方がいいか？

→クラウドの情報管理をする際にセキュリティを心配された。

地活管理のクラウドに招待した人として入れないことで承知してもらった。

収入が増える事、連携を広げることで区内の支援体制が活発化していくと説明した。

相談員が自法人以外の意見を得られることで、視野が広がる、第三者性の確保につながると説明した。

登壇者より一言

・共同体制は法人を超えて繋がっていく事が出来る。相談員が孤立しない、経営が安定することの一助になればよい。

・連携をしていくことは、支援者にとっても、利用者にとっても良いことだと、この取り組みが広がっていくと良い。

・半年かけて作り上げていくことが大変だったが、その点はノウハウがあるので新規の方はその負担感は軽減できるので、ぜひ検討してほしい。

・主任相談支援専門員として携わっている。

他区でも共同体制をとっている区はあるが、自立協・部会と紐づいて実施しているのは保土ヶ谷区のみ。つくるまでのパッケージとして提供できるので、ぜひ仲間になってほしい。

3、今年度の振り返りと次年度について：相原部会長より（16:05-16:10）

※報告書・計画書 参照

・継続参加が難しい事業所もあるので、事業所訪問にて対応してきた。

・区内計画件数が増えない事も課題

・地域課題はテーマとして大きいですが、どう協議していけばよいかを引き続き検討していく。

・人材育成、支援者支援ができる人材を育成していくことを目指す

4、グループワーク（16:10—17:10）と共有（17:10—17:20）

テーマ：「協働体の報告についての感想」「業務の効率化について」
4グループ中、1・3グループが発表。

【1グループ】

・協働体について
主任相談支援専門員が入っているのが大きい、主任として人材育成に携わっている。
頼れる先が増えるのは良い。
・効率化
レコーダー活用、プラウドが良いと話があがった。
長くなる会議をどうきりあげるか。流れを最初に伝えておく、会議中に決まったことを確認していくこと、フォローしてくれる方をたてておく工夫が必要。
1か月後半にイレギュラーで使える日を設定しておく。

【3グループ】

・協働体について
24時間の連絡体制
かるかも協働体では各事業所で体制がとれているが、計画担当からの連絡は多くない。
形を整えばメリットが大きい。

・業務の効率化
IT活用
ここでは難しいが行政がシステムをつくってくれると良い。
児童の計画が少ないため、受け手が増えるとよい
部会に参加することで繋がりが出来て、相互の強みを活かし連携を図ることが日々の支援が効率化につながるのでは。
書類送付方法について、計画は送付するが、モニタリングは要望ある事業所に送付する、手渡しなど工夫している。電子署名ができるとうよい。
運営指導がくるタイミングがわからない。

5、インフォメーション・閉会（17:20—17:30）

・夢21上星川で所在不明の方がいるが、経過をみて皆さんへご協力依頼させて頂くかも。→後日無事帰宅された。

5、計画相談の実施状況

【計画相談の実施状況】R7年12月実績（1月主任連絡会）※R7年11月との比較

	対象者数 (障福サービス+ 地域相談利用者)	計画相談 決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画 相談+ 介護保 険利用者)	事業 所数
			介護保 険利用 者 (ケア プラ ン)	セルフ ラン 希望者	事業 者が 見つ から ない	そ の 他		
保土 ヶ谷	1830 (+9)	930 (+4)	77 (-2)	378 (+8)	438 (±0)	7	55.0% (-0.2)	24 (± 0)
18区 計	29,261 (+226)	16,317 (+378)	1,503 (±0)	6,320 (+62)	4,870 -30)	89	61.7% (±0)	284 (± 0)

6、事業所訪問について

【2月の予定】

- ・タキオンネクスト…2月20日訪問

【3月の予定】

- ・はる訪問看護…3月9日訪問予定（運営再開）
- ・生活支援センター、夢21、わおん…3月6日予定

7、まとめ挨拶

相原部会長より

- ・次回予告
- ・メのあいさつ

次回 第9回相談支援部会

日時：令和8年4月24日（金）15：30～17：30

場所：保土ヶ谷区役所 401会議室

内容：①ミニ講座「地域課題 とは？」（講師：上村氏（二次相談・光の丘）

②交流会